

各位

平成29年5月12日  
ファンド名： 投資ファンド『一銭』  
代表者名： 古尾谷 亮則

## CSR(社会貢献)活動開始のお知らせ

当ファンドは5/11付でCSR活動を開始することを決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

### 1.決定に至る経緯

当ファンドではSRI(社会的責任投資)を運用の基本理念に掲げ、投資者の社会的責務を果たすべくこれまでCSRを重視する企業を中心に投資活動を行ってまいりました。しかしながら、“SRI”と言ってもあくまでも流通市場における現物株取引にとどまるため、現実的にはCSRの履行を企業側に働きかける余地は限られております。また現状、SRIの恩恵(キャピタルゲインや配当金)を投資者自身(=一銭)が享受している状況にあり、自らのCSRに対する取り組みが不十分であるとの認識に至りました。

そのため私たちも“社会の公器”としての自覚を持ち、今後の社会の持続的な発展に貢献するため微力ではありますが一銭独自の社会貢献活動を推進することといたしました。

### 2.CSR活動の概要

一銭の投資事業で得られる運用益の一部を、開発途上国の子どもたちにワクチンを送る活動を行う国内NPO法人に寄付※し、様々な支援に役立てて頂こうと考えています。(5月11日に支援申し出済)  
※支援には安定性・継続性が重要と考え、運用結果の成否に関わらず毎月一定額の送金を行います。

【NPO法人概要】名称 世界の子どものワクチンを 日本委員会 URL <https://www.icv-jp.org/>



#### 開発途上国にワクチンを贈っています

世界では、1日4,000人一時間にして20秒に1人の赤ちゃんや子どもがワクチンがないために命を落としています。私たち、世界の子どものワクチンを日本委員会(JCV)は、こうした子どもたちにワクチンを届け、子どもたちの未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行っています。

現地と日本とでは貨幣価値の違いもありますが、わずか数十円・数百円が子どもたちの生死・運命を左右しているという事実は見過ごす訳にはまいりません。

### 3.業績等への影響

毎月一定額の支出を伴うことから業績上はその分収益が減少あるいは損失が増加する見込みです。もちろん、毎月安定した運用益を計上することは支援を続ける上で重要であり、そのために対処すべき課題も様々あります。しかし、SRIファンドを謳う一銭にとって数字上の損得はあまり問題ではありません。最も大事なのは何のため(誰のため)にリスクを背負って相場を張るのか?という点に尽きると考えます。

株式投資は社会的に認知こそされてはいるものの、未だにギャンブル・虚業と捉えられる風潮があり、とりわけ利益を出している投資者に対する風当たりは厳しいように思われます。(嫉妬や恨み節等含め)そうした中で、私たちは積極的なCSR活動を通じて、「事業内容は百歩譲って“虚業”であったとしても、その方法次第では現実世界をより良く変えていける」ということを少しずつでも実証して参ります。

そして、こうした活動が私たちをSRIファンドたらしめ、長期的には投資ファンド『一銭』の存在価値を高めていくものと確信しております。なおCSRへの取り組みは今後も徐々に拡大していく予定ですので、詳細が決定した場合には速やかにお知らせいたします。

以上